

GA330

## 表象文化演習―場所論―

岡村 民夫

配当年次／単位：3～4 年／4 単位

旧科目名：

旧科目との重複履修：

毎年・隔年：毎年開講 | 開講セメスター：春・秋

人数制限・選抜・抽選：選抜

他学部への公開：×

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

「場所」とは、私たちの文化を文字通り足下から支える基盤である。文化の観点から場所を研究するとともに、文化を「場所」の観点から見なおす。

春学期の主題として、これまでに「建築」「風景」「旅行」「東京」「水際」「歩行」「都市」「観光」「庭園」などを取り上げてきた。今年度は、昨年度に続き「宮崎駿およびジブリアニメ」を春学期の主題とする。

## 【到達目標】

文化と場所の相関性に関して、知識をつけるだけでなく、作品鑑賞やフィールドワーク（とミニレポート）を通して、作品分析力、感受性、想像力を、体験的・実践的に養うことを目指す。またゼミの諸活動を通じて、調査力、発表力、コミュニケーション力、責任感を身につける。

## 【授業の進め方と方法】

春学期は、主として宮崎アニメや、関連する文献・建築・場所などについてグループ発表とディスカッションを行う。

秋学期前半は、4年生による研究発表、秋学期後半は3年生による研究発表（秋学期末レポート予備発表）を行う。秋学期の発表・レポート・卒論の主題は、場所に関する文化的研究であれば「宮崎アニメ」以外の主題でも、また映像制作でも構わない。

年間を通じ、合間に適宜フィールドワークや展覧会見学を实践する。なお夏休みには、3年生の意見を尊重した夏合宿をする予定である。

## 【授業計画】

## 春学期

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	自己紹介。 一年間の計画の説明。 「宮崎駿」に関する概説。 春学期のグループ発表の計画。
2	フィールドワーク	江戸東京たてもの園を散策し、ミニレポートを作成する。
3	第1回講義	教員がアニメないし映画の分析方法について基本的なレクチャーをする。
4	第1回グループ発表 『太陽の王子ホルス』	発表とそれをめぐる全員での討議。
5	第2回グループ発表 『アルプスの少女ハイジ』	発表とそれをめぐる全員での討議。
6	フィールドワーク 『パンダコパンダ』	法政から近い東京の一角を歩き、ミニレポートを作成する。
7	第3回グループ発表 『未来少年コナン』	発表とそれをめぐる全員での討議。
8	第4回グループ発表 『風の谷のナウシカ』	発表とそれをめぐる全員での討議。
9	第5回グループ発表 『おもいでぼろぼろ』	発表とそれをめぐる全員での討議。
10	フィールドワーク	法政から近い東京の一角を歩き、ミニレポートを作成する。
11	第6回グループ発表 『紅の豚』	発表とそれをめぐる全員での討議。
12	第7回グループ発表 『ハウルの動く城』	発表とそれをめぐる全員での討議。
13	第8回グループ発表 『崖の上のポニョ』	発表とそれをめぐる全員での討議。

14	第9回グループ発表 『風立ちぬ』	春学期の補習とレポートに関する注意。教員による宮崎アニメのレクチャー。
15	春学期末レポート フィールドワーク	3年は春学期やった主題に関するレポートを提出。 4年は自由研究レポートを提出。 法政から近い東京の一角を歩き、ミニレポートを作成する。

## 秋学期

回	テーマ	内容
1	秋学期ガイダンス	新ゼミ長ほかの挨拶。 秋学期の計画。 春学期レポートについてのコメント。教員による場所論レクチャー。
2	第1回個人研究発表	4年生による研究発表。
3	第2回個人研究発表	4年生による研究発表。
4	フィールドワーク	法政から近い東京の一角を歩き、ミニレポートを作成する。
5	第3回個人研究発表	3年生による研究発表。
6	第4回個人研究発表	3年生による研究発表。
7	第5回個人研究発表	3年生による個人研究発表。
8	フィールドワーク	法政から近い東京の一角を歩き、ミニレポートを作成する。
9	第1回3年生研究発表	3年生による個人研究発表。
10	第2回3年生研究発表	3年生による個人研究発表。
11	国際文化情報学会準備	国際文化情報学会の展示物の作成等。
12	国際文化情報学会準備	国際文化情報学会の展示物の作成等。
13	フィールドワーク	法政から近い東京の一角を歩き、ミニレポートを作成する。
14	3年生秋学期レポート	3年生秋学期レポート提出。 秋学期の補習。
15	卒論提出。 フィールドワーク	法政から近い東京の一角を歩き、ミニレポートを作成する。

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

発表や研究に関する文献調査やフィールドワークや作品鑑賞。  
ゼミ生と相談のうえ夏期合宿を行う。  
ゼミ生と相談のうえ国際文化情報学会で研究発表をする。

## 【テキスト（教科書）】

『風の帰る場所』（文春ジブリ文庫）

## 【参考書】

宮崎駿『出発点 1979-1996』（岩波書店）、同『折り返し点 1997-2008』（岩波書店）。ほかは授業時に随時指示する。

## 【成績評価の方法と基準】

ゼミ参加度（50％）と期末レポート（50％）を総合的に評価する。

## 【学生の意見等からの気づき】

学生の議論をより活発にする。メリハリをつける。

## 【学生が準備すべき機器他】

DVDを使う場合、教授室受付にデッキの鍵を借りに行き、返却すること。

## 【その他の重要事項】

書籍を買ったり、美術館へ行ったり、映画鑑賞をしたり、街歩きや旅行をしたりする好奇心と体力と余裕があること。ゼミのメンバーと協力しあい、責任を分担すること。